

市指定

所在地：宮田

みやたほうきょういんとう

宮田宝篋印塔

市内最大級の宝篋印塔である。台石は複弁の反花座をつけ、四面に輪郭をとった格狭間を刻む。軸石は後世に燈籠化されくり抜かれ、月輪内の四仏の種子は判別できない。笠の隅飾り突起はほぼ直立し2弧の輪郭が刻まれている。相輪も立派で全体的にバランスのとれた宝篋印塔である。

造立年代は明らかではないが、各部の手法からみて鎌倉時代後期を下らぬものと見られる。

高さ216cm。

